



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月15日

上場会社名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 上場取引所 東
 コード番号 7829 URL http://www.samantha.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺田 和正
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)古市 知元 (TEL)03(5412)8193
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日~平成26年5月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	10,320	44.6	1,477	186.3	1,457	124.1	808	73.5
26年2月期第1四半期	7,135	△11.4	516	110.7	650	190.2	466	—

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 826百万円(75.1%) 26年2月期第1四半期 472百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	22.92	—
26年2月期第1四半期	13.21	—

(注) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行い、平成26年3月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	19,820	9,329	46.4
26年2月期	17,232	8,593	49.4

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 9,196百万円 26年2月期 8,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	400.00	—	400.00	800.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 平成27年2月期(予想)の年間配当金については、平成26年3月1日付の普通株式1株を100株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日~平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,660	38.6	1,660	137.1	1,610	99.3	850	100.5	24.08
通期	38,480	21.9	3,160	73.2	3,110	54.7	1,480	74.5	41.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期1Q	35,296,000株	26年2月期	35,296,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年2月期1Q	—株	26年2月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期1Q	35,296,000株	26年2月期1Q	35,296,000株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行い、平成26年3月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成26年2月期及び平成27年2月期第1四半期の株式数を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

当社は、平成26年1月20日開催の取締役会決議に基づき、平成26年3月1日を効力発生日として普通株式1株を100株とする株式分割を実施いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の積極的な経済・金融政策の推進により、景況感には改善の動きがみられました。また、消費税増税前の駆け込み需要などもあり、個人消費の増加も見られました。しかしながら、4月以降は増税に伴う消費マインドの冷え込みが懸念され、先行きはなお不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましては、消費税増税後の駆け込み需要の反動もあり、不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、「良い人、良い場所、良い商品、良い宣伝」の実施を事業戦略にかかげ、効果的な店舗展開とプロモーション活動及び商品戦略などを展開してまいりました。

・店舗展開について

バッグ事業においては、13店舗を出店いたしました。海外では、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルルにあるショッピングセンター「アラモアナショッピングセンター」の2階の好立地に「サマンサタバサ ハワイアラモアナセンター店」を出店いたしました。国内では、新潟県への初出店として「サマンサタバサ 新潟伊勢丹店」「サマンサタバサ サプチョイス 新潟伊勢丹店」を出店いたしました。また、昨年より展開しているファストファッションブランド「Samantha & chouette」の出店を加速し、「サマンサ&シュエット ギャラリー 成田国際空港第1旅客ターミナルビル店」「サマンサ&シュエット ギャラリー さんすて福山店」「サマンサ&シュエットギャラリー イオンモール新潟南店」など8店舗を出店いたしました。

ゴルフ事業においては、「Samantha Thavasa UNDER25 & No.7 池袋東武店」を出店いたしました。

アパレル事業においては、大人の女性へ向けたコンセプトショップ「ウィルセクション シュシュ イオンモール和歌山店」「ウィルセクション シュシュ イオンモールナゴヤドーム前店」を出店いたしました。

その結果、サマンサタバサグループ合計で16店舗を出店いたしました。

・プロモーション活動について

バッグ事業においては、日本国内のみならずアジアでも絶大な人気を誇るダンス&ヴォーカルグループであるEXILEのTAKAHIROさんと「ミランダ・カー」との夢の共演が実現した「Samantha Thavasa meets SAMANTHA KINGZ 2014」のCMを放映し、「Samantha Thavasa」と共にメンズブランド「SAMANTHA KINGZ」初のCMプロモーションを行いました。

また、EXILEのD.N.Aを受け継ぎ本格的なダンスパフォーマンスを展開する女性グループ「E-girls」が、「Samantha Vega」のミニバッグを手にし、圧倒的なダンスパフォーマンスと音楽とファッションで魅せる「サマンサベガ×ハニーバンチ～Disney New Collection～meets E-girls」スペシャルコラボCMを放映いたしました。

さらに、日本最大級のガールズファッションショーの先駆けである、「神戸コレクション」「東京ランウェイ」に協賛し、「サマンサタバサ」やアパレルの「シークレットハニー by ハニーバンチ」の商品をステージで紹介いたしました。

・商品戦略について

各ブランド事業において新作を販売し、多様化するファッションニーズに応える商品を積極的に展開してきました。また、商品の魅力をより高めるコラボレーションも継続して行い、雑誌や人気モデルとのコラボレーションによる商品を販売いたしました。

バッグ事業においては、高品質のレザー商品である「サマンサアゼル」「ヴィリエ」「レディアゼル」「ルイーザ」が堅調に推移いたしました。また、人気モデルの蛭原友里さんとのコラボバッグの新作「カリダ」、日本テレビ系列の朝の人気番組「スッキリ!!」とのコラボ第2弾としてお客様の声を反映し機能性を重視した商品の開発に注力した「エンヴィー」、これからのシーズン向けの夏素材バッグ「アリッサ」などを販売いたしました。

ジュエリー事業においては、「フラワーレターズ」「ルミエール」を中心に堅調に推移いたしました。また、ディズニー映画『アナと雪の女王』の公開に合わせてディズニーコレクション『アナと雪の女王』シリーズを販売いたしました。

平成26年5月に当社のブランドである「Samantha Thavasa Petit Choice」については、消費者ニーズに対応した高い商品力が評価され、ファッション業界に貢献した企業・団体・個人に贈られる「第32回（2013年度）百貨店バ

イヤーズ賞」(織研新聞社主催)を受賞いたしました。また、「Samantha Thavasa」「Samantha Vega」「Secret Honey by Honey bunch」が「第16回(2013年度)ディベロッパ―が選んだテナント大賞」(織研新聞社主催)の部門賞を受賞いたしました。

・消費増税対策について

当社グループは、平成26年4月1日に実施された消費増税に対し、1年以上前から「消費増税に絶対勝つ!」をテーマに、商品企画から販促、人材育成等と、当社グループ全スタッフで立体的に取り組んでまいりました。その結果、当社の平成26年4月度の売上高は前年同月対比130%を達成いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は103億20百万円(前年同期比44.6%増)、売上総利益は69億46百万円(前年同期比43.0%増)、営業利益は14億77百万円(前年同期比186.3%増)、経常利益は14億57百万円(前年同期比124.1%増)、四半期純利益は8億8百万円(前年同期比73.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

総資産は198億20百万円であり、前連結会計年度末と比較して25億88百万円増加しております。主な増加要因は、現金及び預金が14億36百万円、受取手形及び売掛金が7億90百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

総負債は104億91百万円であり、前連結会計年度末と比較して18億52百万円増加しております。主な増加要因は、支払手形及び買掛金が4億65百万円、短期借入金が9億77百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は93億29百万円であり、前連結会計年度末と比較して7億35百万円増加しております。主な増加要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月9日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想について、変更はありません。今後、連結業績予想数値の修正の必要が生じた場合には、適時適切に開示を行ってまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,509,680	3,945,949
受取手形及び売掛金	2,558,093	3,348,410
商品及び製品	5,859,588	6,255,247
仕掛品	31,207	21,142
原材料及び貯蔵品	295,122	301,764
その他	996,313	773,002
貸倒引当金	△1,443	△1,305
流動資産合計	12,248,563	14,644,211
固定資産		
有形固定資産	1,095,634	1,231,487
無形固定資産		
のれん	908,525	884,842
その他	287,751	328,219
無形固定資産合計	1,196,277	1,213,061
投資その他の資産		
差入保証金	2,085,062	2,111,647
その他	606,688	620,087
投資その他の資産合計	2,691,750	2,731,735
固定資産合計	4,983,662	5,176,284
資産合計	17,232,225	19,820,495
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,909,702	2,375,062
短期借入金	1,272,020	2,249,400
1年内返済予定の長期借入金	1,606,676	1,533,532
未払法人税等	848,673	553,814
賞与引当金	193,685	401,098
その他	1,040,805	1,713,632
流動負債合計	6,871,563	8,826,540
固定負債		
長期借入金	1,647,237	1,541,454
その他	119,879	123,289
固定負債合計	1,767,116	1,664,743
負債合計	8,638,680	10,491,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,132,600	2,132,600
資本剰余金	2,252,600	2,252,600
利益剰余金	4,208,021	4,875,657
株主資本合計	8,593,221	9,260,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,658	16,707
為替換算調整勘定	△94,228	△80,861
その他の包括利益累計額合計	△83,570	△64,154
少数株主持分	83,894	132,508
純資産合計	8,593,544	9,329,212
負債純資産合計	17,232,225	19,820,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	7,135,863	10,320,522
売上原価	2,277,331	3,374,190
売上総利益	4,858,532	6,946,331
販売費及び一般管理費	4,342,407	5,468,567
営業利益	516,124	1,477,763
営業外収益		
受取利息	121	27
補助金収入	2,302	692
為替差益	87,934	—
償却債権取立益	51,900	—
その他	1,503	1,268
営業外収益合計	143,761	1,988
営業外費用		
支払利息	9,226	10,474
為替差損	—	9,418
その他	270	2,510
営業外費用合計	9,496	22,403
経常利益	650,389	1,457,349
特別利益		
関係会社株式売却益	105,570	—
負ののれん発生益	41,232	—
特別利益合計	146,802	—
特別損失		
固定資産除却損	3,938	700
特別損失合計	3,938	700
税金等調整前四半期純利益	793,252	1,456,649
法人税、住民税及び事業税	42,071	553,292
法人税等調整額	296,204	98,774
法人税等合計	338,276	652,066
少数株主損益調整前四半期純利益	454,976	804,582
少数株主損失(△)	△11,185	△4,238
四半期純利益	466,161	808,820

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	454,976	804,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,452	6,049
為替換算調整勘定	9,684	16,219
その他の包括利益合計	17,137	22,268
四半期包括利益	472,113	826,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472,423	828,236
少数株主に係る四半期包括利益	△309	△1,385

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、「ファッションブランドビジネス」という単一のセグメントであるため、記載を省略しております。